

報道関係者 各位

山形県戦没者墓地「千歳山霊苑」拝礼式の実施について

本県の援護行政につきましては、日頃から御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

標記のことについて、下記のとおり実施しますので、お知らせいたします。

記

- 1 行事名 令和4年度山形県戦没者墓地「千歳山霊苑」拝礼式
- 2 日時 令和4年5月31日（火）午前11時～午前11時30分
- 3 場所 山形県戦没者墓地「千歳山霊苑」（概要は別紙のとおり）
- 4 参列者 来賓：5名（県遺族会会長、県議会議長、県英霊にこたえる会会長、  
戦没者遺族代表2名）  
主催者：知事 ほか2名
- 5 式次第 (1) 開式の辞 県健康福祉部長  
(2) 国歌演奏  
(3) 黙とう  
(4) 式辞 知事  
(5) 追悼の辞 県遺族会会長、県議会議長  
(6) 弔電奉呈 県健康福祉部地域福祉推進課長  
(7) 拝礼 知事、来賓  
(8) 閉式の辞 県健康福祉部長
- 6 その他 会場へお越しの際は、マスクの着用に御協力をお願いいたします。  
マスクは、式典の趣旨を鑑み、白色無地を基調としたものをお願いいたします。  
なお、取材に当たりましては、他の報道関係者等との間隔を十分に空けて  
くださるよう御配慮をお願いいたします。

問合せ先 地域福祉推進課

課長補佐（援護・指導担当） 杉山

TEL 023-630-2995

報道監 健康福祉部次長 柴田

# 千歳山霊苑の概要

## 1 名称等

山形県戦没者墓地「千歳山霊苑」

- ・山形市あこや町一丁目13番29号
- ・敷地面積 5,076㎡ (1,536坪)

## 2 設置及び経過

明治29年11月	陸軍省により山形陸軍墓地が設置される
明治39年11月	日露戦争戦没者墓碑6基建立
昭和8年1月	満州事変戦没者慰霊塔建立
昭和20年10月	終戦に伴い大蔵省へ移管
昭和28年6月	大蔵省から山形県に無償譲与
昭和34年2月	墓地の名称を「千歳山霊苑」と改称

## 3 建立物の概要

「靖霊塔」(せいれいとう)

今次大戦戦没者の分骨は山形陸軍墓地に仮埋葬されていたが、永久的施設(納骨堂)を建てたいという気運が高まり、県遺族連合会、県社会福祉協議会等で構成する山形県戦没者納骨施設建設委員会が当時の管理者であった大蔵省の使用許可を受け、墓地敷地内に昭和27年8月24日に建立した。

靖霊塔には、山形県出身戦没者4万余柱(内、太平洋戦争戦没者32,665柱)の御霊が祀られており、太平洋戦争戦没者の英霊分骨約6,000柱と弘前仏舍利塔に納骨されていた日露戦争当時の県出身英霊約200柱の分骨並びに南方戦域から収集された遺骨が納められている。

昭和29年1月、山形県が山形県戦没者納骨施設建設委員会から靖霊塔の寄付を受けた。

## 4 拝礼式

昭和29年以降、毎年、県内戦没者遺族等約300人の参列を得て執り行ってきたが、新型コロナの影響により、令和2年度以降は、参列者の範囲・人数等の規模を縮小して執り行っている。

## 5 管理の状況

会計年度任用職員を配置して、県が維持管理を行っている。